

事務事業調書

平成26年度

事業No	741	課	青少年の家	係	指導係	起案者	羽賀佐代美
						決裁者	大見智
事務事業名	青少年の家施設管理事業				事業種別	施設管理	

1 事業概要

総合計画体系	4 個性と文化を育む環境づくり 2 青少年・成人・高齢者 2 成人・高齢者の学習 9 上記施策以外の施策 9 上記施策以外の施策			予算科目(会計)		一般会計		
				予算科目(款・項・目)		50-25-30		
				総合計画以外の計画				
				関連する総合計画の施策				
				性質区分	市の内部事務事業			
根拠法令	無							
法定受託事務	無							
公約・議会答弁	無							
陳情・市民要望	無							
実施方法	一部委託	委託先	民間企業					
実施期間	開始	平成10年度	経過	16年目	終了		期間	
求める成果 (目的)	誰(受益者)が	青少年の家利用者が			~になる	施設を快適に利用できます。		
事務事業の内容	青少年が研修を行うため施設内の部屋を貸し出し研修をする場所を提供する。							
改善・対策の履歴	利用者の要望はできるかぎり対応し、迅速に改善する。							

2 事業費(千円)、人員推移(人)

項 目	平成23年度	平成24年度	平成25年度		平成26年度
	(実績)	(実績)	(予算)	(実績)	(予算)
総事業費	35,013	21,538	19,110	20,337	22,728
財源計	33,753	20,278	17,850	15,927	18,318
財源の内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	市債	0	0	0	0
	その他()	2,169	1,997	2,042	2,042
	一般財源	31,584	18,281	15,808	13,671
受益者負担金	2,169	2,323	2,042	2,195	2,042
職員人件費 (従事職員数)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)	1,260 (0.20)	4,410 (0.70)	4,410 (0.70)
人事課予算分 人件費	0	0	0	0	0

3 各活動にかかるコスト			年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
活動1	活動名 (活動内容)	青少年団体の利用	見込	3,000.00	3,000.00	3,000.00	3,000.00
			実績	3,919.00	3,797.00	2,508.00	
	指標名 (単位)	利用回数(回)	活動の総事業費 (千円)	35,013	19,541	20,337	
			活動にかかるコスト (千円)	8.93	5.15	8.11	
活動2	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				
活動3	活動名 (活動内容)		見込				
			実績				
	指標名 (単位)		活動の総事業費 (千円)				
			活動にかかるコスト (千円)				

4 成果指標と実績の推移

指標名(単位)				年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
成果1	青少年の家利用登録団体数青少年団体(団体)			目標	90.00	70.00	70.00	100.00
				実績	75.00	62.00	68.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	100.00	達成状況	未達成	未達成	未達成
	青少年の家利用登録団体数一般団体(団体)			目標	66.00	68.00	69.00	70.00
成果2				実績	65.00	69.00	64.00	
	目標達成年度	平成26年度	目標成果指標値	70.00	達成状況	未達成	達成	未達成

5 成果1、2以外の成果

成果	青少年団体は音楽活動・ユースカレッジ0B・学校のクラブ活動が、一般団体は料理・子育てなど幅広い内容のサークル登録が多くなっています。
----	--

6 各活動にかかるコストと成果の分析

内部の取組や外部要因が与えた影響、課題等	
活動コスト	夜間管理業務を施設管理協会に委託することで職員の人件費を削減しています。
成果	一般団体に対して名簿の提出を不要としました。19年度に人にやさしい街づくり事業としてエレベーターの設置、床のバリアフリー化などを行ないました。

7 所属長の改善案

コスト・成果について、事業の分析を踏まえた具体的な改善案
宿泊利用の際、施設の適切な利用についてまとめた手引きなどを作成し、代表者に手渡したり、オリエンテーションを充実させるなどして、円滑な研修の運営を促します。

8 方向性

必要性、効率性、有効性を踏まえた事業の方向性	
維持・継続	電気、ガス、水道使用量及び消耗品等の購入等の需要費を見直しコストの削減を図る。